

# プロジェクト事例発表

資料5

プロジェクト名	幹事
医療・ヘルスケア・コスメティック	
⑨ (P1～P3) ヘルスケア産業振興プロジェクト	大分県
横断的取組	
⑱ (P4～P7) グローバル人材の育成・活用促進プロジェクト	九州グローバル産業人材協議会

# 「九州連携医療機器産業拠点形成事業」の取組について

⑨ヘルスケア産業振興プロジェクト  
【幹事：大分県（福岡県・宮崎県）】

## 九州連携医療機器産業拠点形成事業

### 〈事業の背景・狙い〉

- ◆H27地方創生加速化交付金を活用した連携事業（九経局、福岡県、宮崎県、大分県）
- ◆医療機器メーカー：  
市場性や法規制に関するノウハウは有するが、優れた製造技術を有するパートナーが不足
- ◆九州ものづくり企業：  
地場企業は、自動車や半導体産業で培われた高い製造技術を有するが、市場や顧客とのネットワークが不足



※医療機器メーカーと地場ものづくり企業とのマッチングを促進し、相互補完を実現。医療機器産業への参入加速化、集積促進を図る。

### 〈事業の概要〉

- ◆医療機器ニーズ探索交流会
- ◆九州のものづくり企業と医療機器メーカーとのマッチング会  
（コーディネーターによるきめ細かなコーディネート活動により、効果的なマッチングを実現）
- 開催時期等：H28年 6月30日～ 7月 1日（大分県）  
10月20日～10月21日（福岡県）  
12月15日～12月16日（大分県）

### 第1回（大分県）開催状況

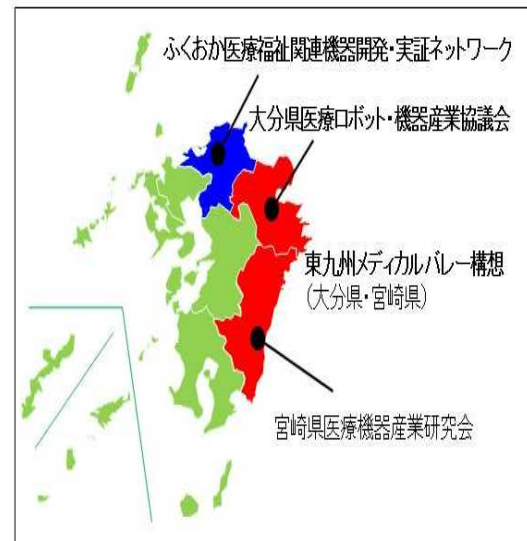


#### 【医療機器ニーズ探索交流会】

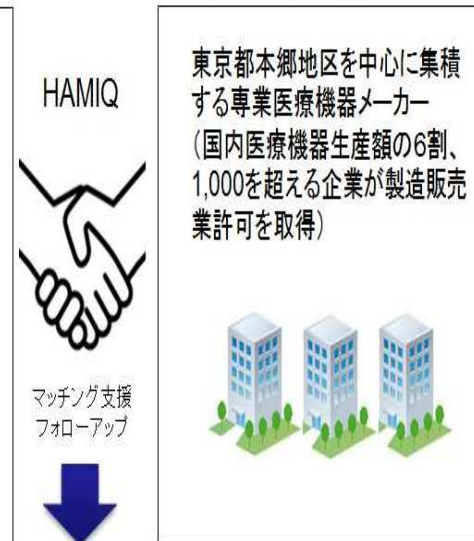
開催日：平成28年6月30日  
場所：大分大学医学部  
概要：5診療科・部署による臨床ニーズ発表会、病院施設見学会、個別討論、交流会（名刺交換会）を実施  
参加者：九州地域ものづくり企業、東京都本郷地区の医療機器メーカー等 〈計157名〉

### 〈事業スキーム〉

自動車や半導体産業で培われた高い製造技術



医療機器市場や法規制のノウハウ



九州発の新たな医療機器開発による医療機器産業の創出と新規参入の促進  
（医療機関の課題解決による医療サービス向上も期待）

#### 【医療機器メーカーとのマッチング会】

開催日：平成28年7月1日  
場所：大分市内会議室  
概要：九州地域のものづくり企業と東京都本郷地区に集積する医療機器メーカーとの個別意見交換会を実施  
参加者：九州地域ものづくり企業18社（大分県11社、福岡県3社、宮崎県3社、熊本県1社）、東京都本郷地区の医療機器メーカー14社等 〈計66名〉 → 69件の個別面談を実施



## 目的・取組の概要

半導体関連産業やロボット産業等の蓄積技術を活用し、最先端医療新サービス拠点整備や高齢化市場の早期到来等に対応した地域萌芽と特性を踏まえ、東九州メディカルバレー構想等地域プロジェクトと連携し、医療・福祉機器関連産業及び医療・介護周辺サービス業の創出と集積、さらには積極的な海外展開を図り、「健康寿命が延伸する社会」の構築の実現を目指す。

## 設定目標（平成37年）

医療機器製造販売業許可事業所数 約360事業所【目標；250⇒360に上方修正】（H23：176事業所 ⇒ H27：254事業所）  
 医療・福祉関連雇用者数 約136万人（H23：88万人⇒H27：111万人）

## 27年度の活動実績

### ◆主な活動実績

#### (1) 医療機器分野への参入促進及び海外展開

- ・医療機器については、九州の医療機器製造販売業許可事業所数が目標の250事業所を達成。
- ・ここ数年、年率8～13%で増加し、医療機器分野への参入を目指す事業者が多いことを定量的に示唆。
- ・こうした状況に応えるべく、各地域では、本プロジェクトの実現のため、事業化支援体制の強化や、広域連携の強化により、医療ニーズとものづくり企業等とのマッチング機会の提供等を精力的に実施。また、海外展開プロジェクトの取り組みを支援。

#### (2) ヘルスケアビジネスの創出

- ・ヘルスケアサービスでは、産業界等の健康意識を高めつつ、ヘルスケア需要を顕在化させていくため、九州経済連合会、協会けんぽと連携し、「健康経営セミナー」を実施。
- ・また、各県、基礎自治体を対象とした九州地方連絡会議を開催し、ヘルスケアビジネス創出に向けた地域プラットフォームの設置と、地域間の連携と補完、自治体の役割等について協議し、政府の方針を踏まえた地域の対応を共有・確認。

#### (3) その他

- ・医療機器とヘルスケアサービス両分野の先進プロジェクトの成果を紹介し、九州内での更なる新規プロジェクト創出を図る発表会を開催。

### ◆27年度の評価と今後の課題

#### ○27年度評価

- ・本プロジェクトの推進による市場の獲得は今後期待。医療機器分野では、各県とも精力的に取り組み、広域的な連携体制も構築しつつある中、商談会での成約など機器開発に向けた一定の進捗が確認された。
- ・ヘルスケアサービス分野では、政府の動き、地方創生の議論に触発され、その役割が基礎自治体にも浸透し、その創出に向けた機運が醸成された。
- ・総じて、着実に実施されており、一定の進捗が確認された。

#### ○今後の課題

- ・医療機器分野では、各県プロジェクトの先鋭化を図るとともに、九州ワイドのプロジェクトづくりを促進し、成功事例の創出に向け取組を強化する。
- ・ヘルスケアサービスでは、地域版協議会設置を進めるため、医療機関との連携、地域資源の活用、インバウンド等を促進する。

平成28年度以降の活動計画

○目標達成に向けた活動方針及び活動内容

①地域特性とニーズを踏まえた対象分野の明確化

- ・血液・血管関連機器等の企業集積を踏まえた「治療分野」、全国に比して高齢化率が高いことから「在宅(予防)分野 健康増進・予防、生活支援」を対象。国内外のニーズを踏まえ、さらに特徴ある医療機器、ヘルスケアサービスを生み出していくため、中核企業を核としたコンソーシアムの組成を促進し、成功事例創出のために政策資源を投入する。

②医療機器産業の創出と集積のための事業化支援機能の強化

- ・医療機器参入等に意欲的なものづくり企業の出口戦略を具現化するために、医療機器の特殊性を踏まえた「ニーズ発掘から販売に至る事業化支援体制」を強化する。なお、28年度より「九州連携医療機器産業拠点形成事業(九経局、大分県、福岡県、宮崎県)を実施。

③ヘルスケアサービスの創出と集積のための地域の資源・人材の積極的な活用

- ・地域においてヘルスケアサービスを創出していくため、「地域版協議会」の設置を促進するとともに、観光資源等を活用する取組を掘り起こし支援していくとともに、ヘルスケアサービスの担い手としてアクティブシニアの掘り起こし、啓発、活用に向け取り組んでいく。

④アジア市場を取り込むインタラクティブな連携体制の構築

- ・国内市場の狭隘化、海外の高齢社会の到来等を見据え、MEJ等との連携を強化し、地の利を活かした海外からの利用者受入れを促進し、将来的には医療機器と医療サービスをパッケージとした積極的な海外展開を目指す。

○28年度以降の活動を通じて新たに設けた目標とそのための活動

今後も、各県、基礎自治体と九州ヘルスケア産業推進協議会との連携を促進するほか、積極的な海外展開への取組を強化する。

◆行動計画

活動内容	平成28年度上期	平成28年度下期	平成29年度上期以降
○各県プロジェクト及び、九州ヘルスケア産業推進協議会事業の実施	各プロジェクト・事業の実施		
	連携事業等の実施		
○本プロジェクトの推進			連携事業等の実施
			各県等との協議開催 ↓ コンソーシアムの組成、九州ワイドのプロジェクト創出

# ⑱グローバル人材の育成・活用促進プロジェクト【幹事：九州グローバル産業人材協議会】

## 目的・取組の概要

九州圏内の産学官との連携を強化し、九州企業のグローバル化に資する人材を育成し、インターンシップや企業交流会等を通じグローバル人材の九州企業への就職を促進する。

## 設定目標(平成35年度)

九州企業への留学生就職人数 全国比10%(H25:4.87% ⇒ H26:5.39%)

## 27年度の活動実績

### ◆主な活動実績

#### 【具体的な活動内容】

○九州グローバル産業人材協議会の幹事会(5月21日)、総会(5月25日)において、平成26年度事業報告及び平成27年度事業計画について審議。  
「九州地域におけるSNSを活用した人材マッチング事業」の模索や他機関と重複したプログラムの整理統合など、本協議会のあり方を抜本的に見直していく方針について了承。

#### ○インターンシップ、就職ガイダンス、セミナー等の開催

・九州の各自治体・関係機関等において、インターンシップ、留学生向け就職ガイダンス、企業と留学生との交流会、就職フェア(合同企業説明会)、企業向け留学生受入れセミナー等、グローバル人材の九州企業への就職支援に資する取り組みを実施。

○ SNSを活用した人材マッチング事業についてトライアル実施の検討、着手  
・九州グローバル産業人材協議会の事業推進会議(4月24日、5月15日、6月24日、7月28日、9月8日、10月27日、12月2日、1月13日、2月29日)において、WEB上でのグローバル人材と九州企業の出会いの場として「九州地域におけるSNSを活用した人材マッチング事業」のトライアル実施について協議。

・11月から2月にかけて実施。→内定者4名(企業16社、留学生95名登録)。  
・並行して、有識者等の研究会(10月23日、12月10日、2月26日)によるフォローを行った。

#### ○平成27年度補正予算「地方創生加速化交付金」の申請

・上記のトライアル実施結果を踏まえ、新たな人材マッチングシステムの構築を行う「九州グローバル人材活用促進事業」について、九州7県で共同申請、3月18日採択決定(49百万円)。

#### ○【他県との連携状況】

・九州各県が参加する「九州グローバル産業人材協議会」を通じ、グローバル人材の域内企業への就職を支援する取り組みを実施中

#### ○九州グローバル産業人材協議会

(設置)平成23年11月

(構成員)九州各県、経済団体、大学等、企業

(概要)グローバル人材の域内就職率の向上等を図るため官民一体となって設立

#### ○【活動予算等の主な獲得状況】

・一般財団法人九州地域産業活性化センター(200万円)

・九州経済国際化推進機構(100万円)

### ◆27年度の評価と今後の課題

#### ○27年度評価

・九州企業への留学生就職人数

H25:567名(全国比4.87%) → H26:699名(全国比5.39%)

(H27.7.31 法務省入国管理局公表)

・今年度本協議会で取り組んだ「九州地域におけるSNSを活用した人材マッチング事業」の成果を基にした、オール九州提案の「九州グローバル人材活用促進事業」が地方創生加速化交付金に採択された(49百万円)。

#### ○今後の課題

・地方創生加速化交付金を活用した「九州グローバル人材活用促進事業」において、新たに組織される協議会へのスムーズな移行。  
現在、「九州留学生就職支援事業実行委員会」を立ち上げ(H28.4.28)、協議会設立に向けて準備中。

# ⑱グローバル人材の育成・活用促進プロジェクト【幹事：九州グローバル産業人材協議会】

## 平成28年度以降の活動計画

### ○目標達成に向けた活動方針及び活動内容

- ・27年度に九州グローバル産業人材協議会において実施した「九州地域におけるSNSを活用した人材マッチング事業」について、今年度も継続して実施（マッチング期間：平成28年10月～12月）。
- ・地方創生加速化交付金を活用した「九州グローバル人材活用促進事業」について、新たな協議会の下で「マッチングシステム」実施。（平成29年1月～）
- ・各自治体・関係機関等による企業とグローバル人材との交流会やインターンシップ等を通じ、グローバル人材の九州企業への就職に資する取組みを継続実施。

### ○27年度の活動を通じて新たに設けた目標とそのための活動

- ・27年度に引き続き、28年度も実施する「九州地域におけるSNSを活用した人材マッチング事業」から、「九州グローバル人材活用促進事業（マッチングシステム）」へのスムーズな移行。

### ◆行動計画

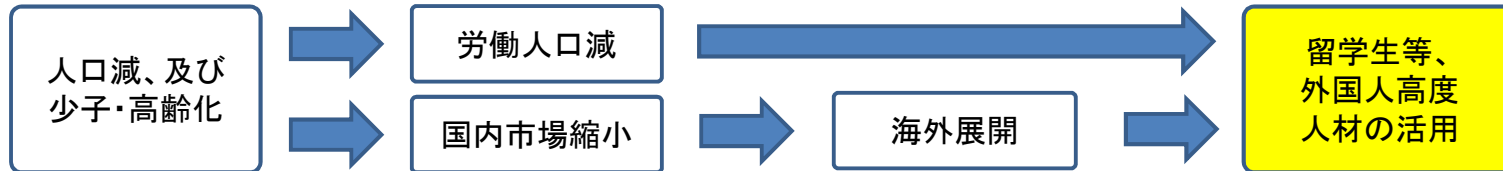
活動内容	平成28年度上期	平成28年度下期	平成29年度下期以降
○企業と留学生とのマッチングの取組	九州地域におけるSNSを活用した人材マッチング事業 (実施主体：九州グローバル産業人材協議会)		九州グローバル人材活用促進事業 (実施主体：新たな協議会)
○グローバル人材の九州企業への就職促進事業	各自治体・関係機関等による企業とグローバル人材との交流会やインターンシップ等の開催		

## 留学生と企業との人材マッチングシステムの構築

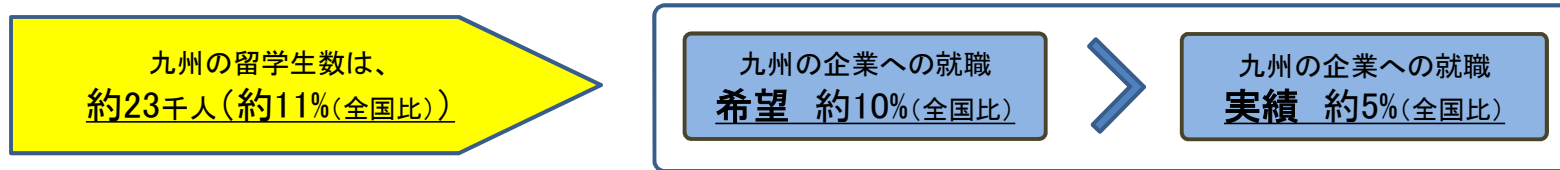
～九州グローバル人材活用促進事業～



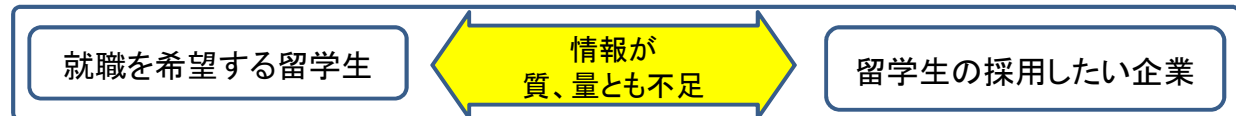
### ■ 背景・課題



### ② しかし、現状は・・・



### ③ どうして、こうなるのか？



### ■ 事業概要・目的

【目的】① 高度な知識・技術を有する人材としての留学生の定着による地域活性化

② ニーズに合った職・人材の確保

【方法】時間や場所に制限されないウェブサイトによるマッチング

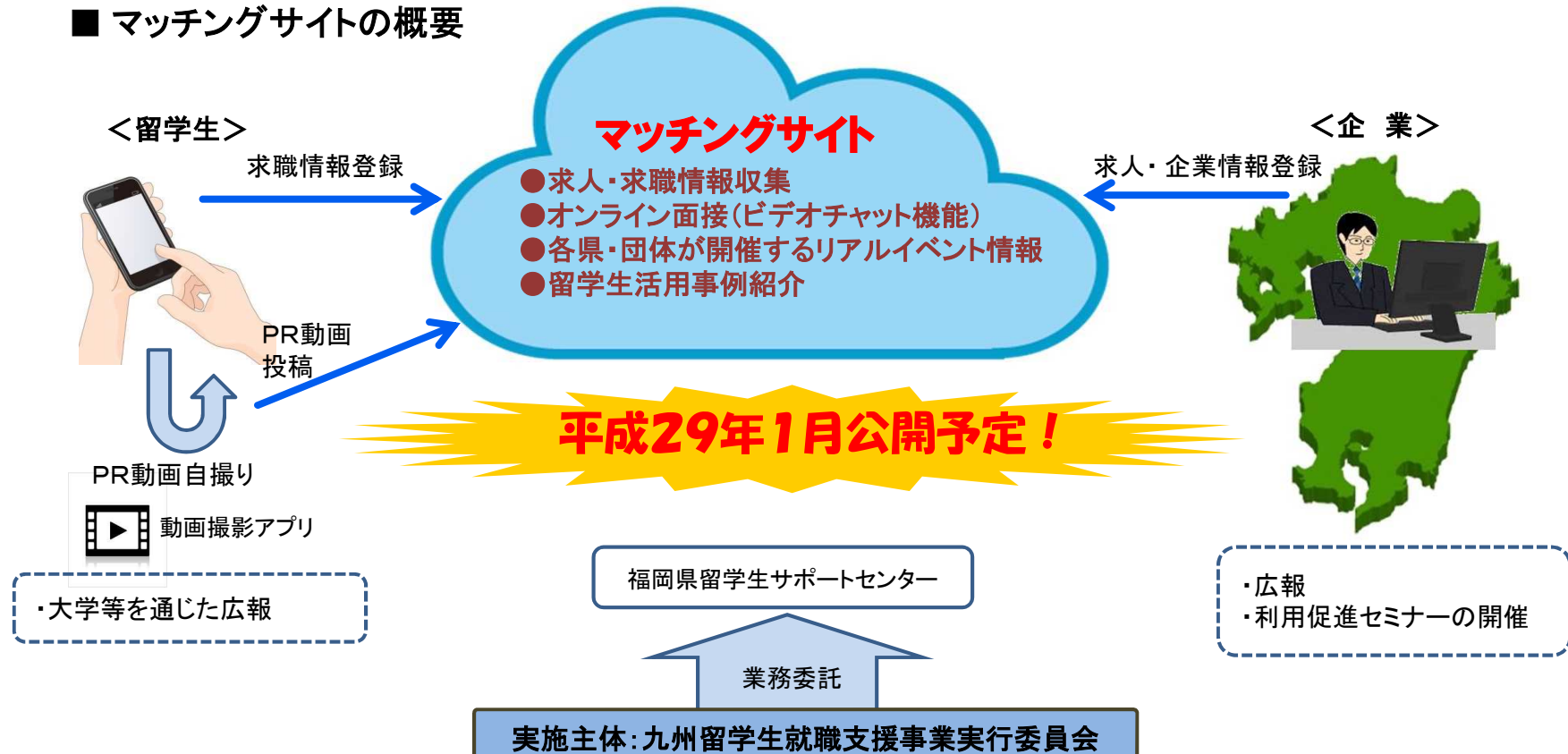
【目標】目標：九州の企業への就職 8%(全国比) ※平成32年3月末まで

効果的な  
マッチングシステム  
を構築

# 留学生と企業との人材マッチングシステムの構築

～九州グローバル人材活用促進事業～

## ■ マッチングサイトの概要



**平成29年1月公開予定!**

メンバー：九州7県（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）

九州経済産業局、九州経済連合会

事務局：福岡県企画・地域振興部国際局国際政策課

設立：平成28年4月28日